

SRE-09-001(J)

2009 年 1 月 16 日

お取引先様 各位

ソニー株式会社
プロキュアメントセンター
サプライヤーリレーション部
統括部長 伊藤 正志



SS-00259 環境不適合 未然防止対応のお願い (第 5 報)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素よりグリーンパートナー環境品質維持活動に多大なるご協力を賜り誠にありがとうございます。
ございます。

さて、最近、誤解により指定原材料をグリーンパートナー環境品質認定取引先以外から購入されているケース、有鉛はんだが使用されているケースが散見されます。

弊社にて確認された環境不適合事例を下記の通りお知らせいたしますので、貴社および二次取引先様におけるルール及び使用部材の点検、環境不適合の未然防止にご活用くださるようお願い申し上げます。

また、下記事例につきましては、二次取引先様へも必ずお伝えいただき、環境不適合の未然防止に取り組んで頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

—記—

<指定原材料運用に関する不適合>

【事例 1】マグネットワイヤーはコーティング電線であるとの認識から、指定 4 原材料の被覆電線と解釈せずにグリーンパートナー環境品質未認定取引先から購入した。なお、2007 年 7 月 27 日発行の「指定原材料の定義」も確認していなかった。

マグネットワイヤー、エナメル線も樹脂でコーティングされた被覆電線ですので、指定原材料となります。化学物質管理の目的から、当社の指定原材料の定義と業界における一般的なカテゴリー分類とは異なる場合があります。つきましては、「指定原材料の定義」の再確認と、社内と二次取引先への周知徹底をお願いいたします。

『関連文書』

「新規採用部品原材料選定について（改版）」2003年7月14日発行

「ソニーグループ環境品質管理手順書」（お取引先様用）第2版 2006年5月15日発行

PQ-2029J-02

「指定原材料対象と環境保証データに関して」2007年7月27日発行 SRE-06-010

【事例2】2003年7月以前に検定承認され使用していた部品に、その後仕様の変更があった。しかし使用している指定原材料については変更がないため、そのままグリーンパートナー以外のものを継続して使用した。

2003年7月以降の仕様変更に際しては、使用している指定原材料に仕様変更がなくとも、指定原材料はグリーンパートナー認定取引先から調達するようお願いしています。仕様変更の場合には指定原材料調達先がグリーンパートナーであることを確実に確認してください。

『関連文書』

「新規採用部品原材料選定について（改版）」2003年7月14日発行

【事例3】委託先でインキを調合する際に、インキ調合専任者が不在のため、他の調合作業者が作業にあたった。その際、同色の他社向けの有鉛インキを使用した。

作業に際しては、社内社外を問わず、作業者が指定されたインキ以外の物を使用しないように、作業指示書（仕様書）に使用インキ名、タイプを明記するなど、作業内容を明確に指示願います。

また社外に委託している場合は、事前に委託先が有鉛材料を使用していないか、確認し、もし有鉛材料を使用している場合、汚染・混入がないように識別・隔離を徹底するよう指示してください。

<有鉛はんだ使用の不適合>

【事例 1】DIP 工程で有鉛のはんだ槽と無鉛のはんだ槽があったが、はんだ棒の識別管理が不十分のため、無鉛はんだ槽に誤って有鉛はんだ棒を供給してしまい、汚染されたはんだ槽で IC のリードを処理した。

有鉛、無鉛両方のはんだを使用している場合は、それぞれが混入しないよう生産工程を編成して下さい。またはんだの在庫については、必ず有鉛、無鉛の識別管理を行い、隣接しない場所などで保管してください。はんだ棒は刻印が無い側から投入するよう作業者に指導するようお願いします。

【事例 2】お取引先様が無鉛はんだの使用を口頭で指示したが、図面に無鉛はんだの指定を記載しなかった。その後、生産委託先の作業者が変わった際に、その作業者は図面のみを見て有鉛はんだを使用して生産した。

同じ生産委託先であっても、作業者が変わることもありますので、必ず図面に「無鉛はんだ使用」と明記して生産委託をしてください。

【事例 3】生産で使用している糸はんだが副資材登録のため、管理規定が無く、購入担当者の裁量に任せて購入していた。そのため有鉛の糸はんだを購入し使用した。

部品に付加される全ての材料は、環境管理対象です。副資材などに分けて別管理されている材料の中で、部品に付加される場合、全て環境管理対象としてください。

以上

本件お問い合わせ先

ソニー株式会社 プロキュアメントセンター サプライヤーリレーション部

E-Mail: Prc.Env@jp.sony.com